



New

Kirari

2022年度
New Kirari

VOL. 1

『笑顔であいさつ・みんながつながる安全な町』
2022年(令和4年)12月20日発行 発行元 広報部
発行責任者 会長 森本 和人

「誰もがいきいきと笑顔になる地域」をめざして

南千里中学校区地域教育協議会は、「誰もがいきいきと笑顔になる地域」をめざしています。その核となるのは、学校・保護者・地域が手を携えて地域コミュニティをつくり、子どもたちが安心できる「居場所」づくりに取り組む中で、大人にとっても「楽しい居場所」になることが重要となります。

わたしたちが取り組む事業課活動の基本は…

- ①子どもの教育について話し合う場や機会を設定し、課題解決に向けた取組みを推進するため、学校・家庭・地域間の連絡調整。
- ②地域でのさまざまな体験と多様な人たちとの交流により、子どもの豊かな育ちと学びを培うとともに、大人どうしのつながりを深め、ともに学び、活動する人間関係づくりをすすめる。
- ③職場体験やゲストティーチャーなど、地域の人たちの協力により、学校教育活動の活性化に支援・協力となっています。

しかし、この3年間はコロナ禍による3密を避ける活動が非常に困難な状況があり、予定していた事業・活動があまりできませんでした。そのような状況下においても、「花いっぱいプロジェクト」では、中学生が主体的になって花の苗を校庭に植えて、千里新田小学校と南千里中学校の間にあるアドプトロードの歩道への植栽に取り組んでいます。



子どもプラザ事業は、残念ながら「土曜WAKU2クラブ」がこの3年間活動ができていませんが、この間も「太陽の広場」は多くの制限がある中、取組みを続けています。その活動は、水曜日の放課後に1・3・5年の日と2・4・6年の日に分けて開催を実施し、子どもたちが安全に活動できるように見守っていただけるフレンドを配置して、異年齢交流や子どもの自主性の育みを促進しています。



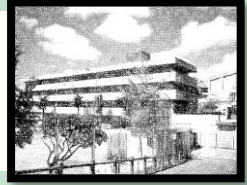
また、広報誌「KIRARI」の編集・発行については継続しています。これからも新型コロナウイルスは厳しい状況になることが予想されます。「新しい生活様式」を踏まえて、子どもたちのために、そしてわたしたちのために「何ができるのか」、「どのようにすればできるのか」を皆様と共に考えて、具体化していきましょう。

南千里中学校区地域教育協議会 会長 森本 和人



特集

学校における働き方改革の推進と 地域との連携・協働を進める視点について



「学校における働き方改革」

2019年1月に中央教育審議会において、学校における働き方改革の推進に係る提言が取りまとめられました。これを受けて、文部科学省はこれからも、子どもたちの未来のため学校が質の高い教育を提供し続けられるよう、働き方改革の取組を進めています。現在、教師の長時間勤務の深刻な実態が社会問題として様々なメディアで報道されています。学校は、社会の要請を受けて、子供に関わる様々な業務を担ってきましたが、まさに今、教師の働き方を変えなければならないという課題に向き合っています。答申の中では、【「子どものためであればどんな長時間勤務も良しとする」という働き方は、教師という職の崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは「子どものため」にはならない。教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになることが学校における働き方改革の目的であり、そのことを常に原点としながら改革を進めていく必要がある。】と示されています。実際に長時間勤務をする現場教師が多い中、これからも、子どもたちの未来のため学校が質の高い教育を提供し続けられるよう、学校として努力していく必要があります。

「地域との連携・協働を進める視点」

○社会の動向、地域と学校の連携・協働の背景

昨今、急激な少子高齢化やグローバル化の進展に伴う激しい社会環境の変化の中で、どの地域においても、地域社会の支え合いの希薄化、教育力の低下、家庭の孤立化などの課題が指摘され、教育現場においては、いじめや不登校、貧困などをはじめ子どもを取り巻く問題が複雑化・困難化しており、社会総掛かりで対応することが求められており、地域と学校が連携・協働するための組織的・継続的な仕組みが必要不可欠となってきています。

○学校と地域が良きパートナーとして

これらの現在の動向をふまえると、学校において「社会の形成者としての意識」を育てることが大切であるといえます。「学校と地域との連携」は古くて新しい課題です。そもそも学校は必ず特定の地域にあり、地域の一員でもあります。児童生徒は将来どこに住もうとも、必ず地域において暮らしを営みます。責任ある地域人材を育てることも学校の大きな役割の一つです。「学校教育の中で育てられること」「地域との協働の中で育てられること」「地域の機能の中で身につけてほしいこと」を学校として整理する必要があります。輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域が「地域ではどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要だと考えています。その中で先述した「学校における働き方改革」に逆行していないか確かめながら、地域の皆様とベクトルを合わせて、特色ある学校づくりを進めていきたいです。

「千里新田「幼稚園」から千里新田「こども園」になりました！」

令和4年4月より幼稚園からこども園に移行しました。
さて、幼稚園からこども園になり、どんなことが変わったのでしょうか？

①給食が始まったよ！【お弁当 → 給食】

給食室ができて、毎日温かくておいしい給食を食べています。
大人気メニューのカレーライスやハンバーグはお代わりが
追い付かないほどです！
苦手な野菜も少しずつ食べられるようになってきました。

②にじチーム（1号認定児）と、ほしチーム（2号認定児） ができました。

③異年齢クラスから同年齢クラスになりました。

☆幼稚園の時は、4歳児・5歳児の異年齢クラスで、毎年
クラス名が変わっていました。令和3年度最後のクラスは
「たいよう組」と「ちきゅう組」です。

☆新たに3歳児保育がスタートしました。3歳児保育が始まった
ことにより、同年齢クラスとなりました。

3歳児は「くり組」 4歳児は「あじさい組」

5歳児は「さくら組」です。

こども園にある木をクラスの名前にしました。



♪GIGAスクール構想が進んで…♪

千里新田小学校

令和3年度から吹田市でもスタートしたGIGAスクール構想。子どもたちがワクワクする「新しい学び」を実現するため、SUNネット端末(吹田市の呼称)であるタブレットパソコンが小学生には1人1台導入されています。子どもたちの学習方法やスタイルは端末導入とともに飛躍的に進みました。デジタルネイティブ世代である子どもたちは、端末を効果的で効率的な文房具として活用して学習しています。子どもたちは、楽しく有意義に使うことも



できる反面、歯止めなく使ってしまうのではないか、逸脱した使い方になってしまわないかという心配もあります。週末や長期休業期間に持ち帰ることにご不安なお気持ち

でおられる保護者の方のご意見を耳にすることもありました。そこで、吹田市では「デジタル・シティズンシップ教育」に取り組んでいます。デジタル・シティズンシップ教育とは「深く考え、責任をもってテクノロジーを使い、学び、創造し、社会参加すること」を学ぶ教育のことです。子どもたちは授業の中で様々な場面でどう行動するべきか、その行動がどんな状況を生むかを考えていきます。授業の中では、まるで他人事のような事態ですが、実社会で起こりうることばかり。授業後にはワークシートを家に持ち帰り、お家の方から感想をいただいたりすることもあります。端末を身近に使うことで、お家でもルール作りや環境整備にご協力いただき、デジタルがあたりまえにありふれる社会で、子どもたちがデジタルの善き使い手となるよう育んでいきます。



《参考：イラストは吹田市HPより引用》

「デジタルシティズンシップ教育」

南千里中学校

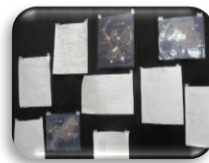


G I G Aスクール構想により、1人1台端末をつかった授業が進んでいます。
また、現代のデジタル社会の良き形成者になるため、「デジタルシティズンシップ教育」にも、取り組んでいます。



総合文化発表会が9月21日に行われました。

- ・1年生 学年発表 「世界の国々の魅力を伝えよう」～旅行をするなら～
- ・2年生 学年発表 「防災について」
- ・3年生 クラス劇
- ・各学年の展示発表
- ・美術部の作品展
- ・ギターマンドリン部の発表



「体育大会」

10月14日に、快晴のもと行われました。
各クラス、一丸となって取り組み、素晴らしい体育大会となりました。



「小学生クラブ体験」

11月25日に行われました。先輩として小学生としっかり交流できました。



千里新田 子育てサロン

【千里新田地区福祉委員会】



子育てサロン「のびのび」を毎月1回開催しています。
千里新田こども園地域担当の先生も来ていただき子育ての相談にのってもらっています。参加された保護者の方々と気さくにお話しされて会話もはずんでいます。
皆さまご参加お待ちしております。



サンタさんと一緒に
はい、ポーズ！

【開催情報】

日時 第2水曜日（8月のみお休み）
午前 10時30分～12時
場所 千里山竹園児童センター

※予約について

コロナ禍にて当分の間、予約申し込みをお願いします。
当日の申し込みも可能です。
予約電話番号 06-6338-6150

【千新 青色防犯パトロール隊】

小学校の登下校の時間帯に青色ライトを点滅させながら二人一組でパトロールをしています。



運転手さん募集中！

一緒に運転・パトロールしませんか！
事務局 大野和之 携帯:090-5898-0743

